

令和3年度 第2回宮崎県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
開催概要

- 1 開催日時 令和4年1月28日(金)～令和4年2月10日(金)
- 2 開催方式 持ち回り
- 3 主な議題
(1) 令和3年度事業実施状況について
(2) 令和4年度事業実施計画について
(3) その他

4 議事

主な意見は以下のとおり。

【離職者訓練について】

- ・離職者訓練は、宮崎・延岡ともに一定の成果を挙げている。
- ・ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた企業ニーズに合う育成に期待する。

【在職者訓練について】

- ・在職者訓練の事業主評価の高さをもっとアピールすると良い。
- ・DXについて、受講者の派遣元企業に意識させる内容を取り込んでほしい。

【生産性向上支援訓練について】

- ・IT業務改善で、RPAの初歩的な講座があると、業務効率化につながると思われる。
- ・次年度以降も発展していくこと、また、DX対応コースに期待する。

【求職者支援訓練について】

- ・コロナの影響を受けた方を対象にした短期・短時間特例訓練は時宜を得た取組だと評価する。
- ・サポート講習について、アンケート結果から充実した内容であったことが伺え、こうした実績をアピールすると良い。

【施設を利用した活動について】

- ・子どもたちに、ものづくりの楽しさを伝える「親子ものづくり体験教室」の充実を更に図ると良いと思われる。
- ・多様性を尊重する社会において、アビリンピックの開催がコロナ禍で無観客開催であったことは残念である。アビリンピックは素晴らしい取組であり、福祉部門とも連携

して、更なる認知度向上を期待する。

【その他】

- ・ 上記全般にわたって、コロナ禍で工夫しながら頑張って運営している。
- ・ 訓練の成果が高い就職率につながっていると思う。また、以前に比べ県外への就職割合が低下しており、取組の成果が出ていると思う。引き続き1人1人に目を向けた丁寧な指導をお願いしたい。
- ・ コロナの影響もあり定員充足が厳しい状況にあるが、引き続きリアルやオンライン等を組み合わせ、受講しやすい環境整備をお願いしたい。

令和3年度第2回宮崎県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
運営協議会 委員名簿

小川 和人	宮崎労働局職業安定部 部長
奥野 信利	宮崎県商工会連合会 専務理事
甲斐 正文	宮崎商工会議所 専務理事
児玉 宏	宮崎市観光商工部商工戦略局工業政策課 課長
児玉 洋一	宮崎県商工観光労働部雇用労働政策課 課長
重黒木 康恵	日本労働組合総連合会宮崎県連合会 事務局長
申 炳録(会長)	国立大学法人宮崎大学工学部工学科機械知能工学プログラム 教授
田中 浩一	一般社団法人宮崎県専修学校各種学校連合会 事務局長
野口 和彦	宮崎県中小企業団体中央会 専務理事
見山 輝朗	宮崎日日新聞社 取締役営業局長兼経営企画室長
山本 浩一	宮崎公共職業安定所 所長

(氏名：五十音順 / 敬称略)